4) Agrilus moerens E.Saunders
   1 ex. 音水 31. V. 1970.

5) Agrilus daimio Obenberger
   1 ♀ 赤西 23. VI. 1979.

とりあえず上記5種を記録しておきたい。特に赤西渓谷はタマムシの種類が多く、昨年正式に日本より記録されたアムールムツボシタマムシは当地が分布の西限となっている。ナガタマムシにも上記③の他に筆者は2種の不明種をしていたり、又今後記録されると思われる種もいくつかあり、最終的には60種位迄期待できると考えている。

終りに、採集データーの発表を許された高橋寿郎氏に感謝する次第である。

「能勢の昆虫」その後 3

仲田元亮

1、2で甲虫について述べましたが、今回は線についてふれてみたいと思います。

「能勢の昆虫 1」に記載できなかったもので、データーをいただいたり、私が目撃したもの
は、わずかクロコノマチョウとシルビアシミの2種にすぎません。

セセリチョウ科のものについては、同好会誌等をみて、2～3種はふやせるのではと期待して
いたのですが全く駄目でした。

1. クロコノマチョウ Melanitis phedima

この種については、以前から能勢各地で散発的にみられており、私も採集可能な種と思って
いました。

1979年8月18日、土曜日、川西市茂林へ入った時のことです。
薄暗いクヌギ林の下草の上に本種をみつけました。湿り気のネットを近くのクヌギにもたせか
け、ぶらぶらとクヌギの空洞をのぞいてまわっていた時でした。

-15-
あわてて、それでもしのび足でネットをとりにもどりました。はやる心を抑えながらそっととってかえしました。いました。しかしう人の気配を感じているらしく落ち着きません。
ネットのとどく範囲まで近ろうとじりよりはじめると、スープと林の奥に入りました。あわてて追いましたが、枝が邪魔になって、とうとう途中がしてしまいました。残念で残念で夢にまでみた程でした。
その後、8月22日、9月22日にごに行きましたが、カケラもみられませんでした。
宝塚市の新家 勝さんからいただいたデーターでは、1974年9月23日、猪名川町木間生、クヌギの樹液に来ていたものを採取となっています。

2. シルピアシジミ Zizina otis

本種も、以前はかなりみられたようです。
奈良市の盛原 摩さんからいただいたデーターでは、
1952年8月27日、1952年9月4日、1953年7月12日に川西市東睦野一の鳥居寒天場でかなり採取されています。
私も、8月、9月に2度づつ行ってみましたが発見できませんでした。
その他の、ミヤギの県生地もごに行きましたがみつかっておりません。
未記録の線を手に入れようと、今から張切れおります。手に入りましたら、きべりはむしの紙面をおかりしてお知らせします。

西宮市のネアカヨシャンマ

田 中 稔

１５—Ⅵ—７８、１♀、甲山
甲山の湿でハッチョウトンボの観察をしていた所、ブッシュよりガサガサとヤンマが飛び立ちしばらく飛んでいたが木の枝にぶら下がったので採集した所本種であった。初めての採集で実に嬉しかったがこんな所にあったかと意外な気もした。

１５—Ⅶ—７８、１♂、１♀、上ヶ原浄水場
甲山の帰り上ヶ原浄水場に寄る。ここは甲山森林公園より小川が流れており松を主とした雑